

さまざまな分野で“がんばる”長崎市民をご紹介!!

ながさきメーカー

長崎 maker

今月のmaker NPO法人 Slopeers(スローピアーズ)

大学生ならではの視点と発想で、人と地域、産業をつなげるさまざまな事業を行うスローピアーズ。長崎大学の学生約30人で「みんなから愛される長崎」をスローガンに日々、活動しています。



スローピアーズの代表理事を務める水町のぞみさん(中央)。法人名には、長崎の坂(スロープ)と仲間(ピアーズ)の意味が込められています。

「たくさんの人に長崎のいいところを知ってほしい」と話す水町さん。大手旅行会社と連携して、平和学習や、坂のまち長崎の魅力を盛り込んだ修学旅行のプランを考えるなど、長崎ならではの取り組みを実施しています。



昨年の12月6日には地元企業の魅力を伝える「優良企業プレゼン大会 in 長崎」を主催。応募で集まった学生が5分間の企業のPR動画を制作。1チーム4～5人で1社を担当し、出来栄を競い合いました。



プレゼン大会には7チームが参加



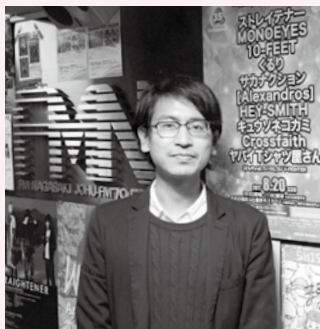
メンバーで市長表敬

水町さんは「就職活動を始める前に、地元企業の魅力を知ってほしかった」「実はこの大会に参加した学生の9割は大学2年生。何度も企業を訪問して動画を制作することで、学生にとって貴重な経験ができた」と話しました。この取り組みは、長崎創生プロジェクトにも認定され、昨年の12月19日に認定書が市長から授与されました。

毎年、活動の幅を広げていっているスローピアーズ。今後も、学生ならではの目線で長崎のまちを盛り上げる取り組みに注目です。

働き盛りの長崎人をクローズアップ!!

はたらきびと 輝く働き人



株式会社 エフエム長崎
浦田 壮一郎 さん

昭和57年創立のラジオ放送会社。長崎県を中心に西九州圏をサービスエリアにさまざまな情報を発信しています。今回は、入社3年目、26歳の浦田さんをご紹介します。

Q1. この会社に就職した理由は?

音楽が好きで昔からよくラジオを聞いていました。大学では違う分野の勉強をしていましたが、進路に迷っていた時、東日本大震災が発生。音楽を通して多くの人々が勇気づけられていることに気づき「自分も音楽でみんなを元気にしたい」と強く思うようになり、この会社への就職を決めました。

Q2. どんな仕事を担当していますか?

放送制作を担当しています。主に、朝の番組のディレクター業務や番組表の作成などを行っています。

Q3. どんな時にやりがいを感じますか?

落ち込んでいる、というお便りが番組リスナーから届き、元気が出るような曲を選曲した後に、『前向きになれたよ!』などのメッセージをもらった時です。

また、夏の野外イベントなどで、帰り際のお客さんの満足した顔を見たときにやりがいを感じます。

Q4. 職場の雰囲気はどのようにですか?

話すことを仕事としている人が多いこともあって、とても明るく楽しい職場です。

Q5. 今後の目標は?

全国的に年々、ラジオを聞く人が少なくなってきたと言われています。『でも長崎だけは違うよね』と言われるように、日ごろからリスナーが楽しめる企画を考えていきたいです。

『ラジオのお陰で元気になった!』とたくさんの人に言ってもらえたら最高ですね。



話し手の平川さんにも「いつも番組前にモチベーションをあげさせてくれる人」と好評

「長崎キラリ☆カンパニー」

長崎のキラリ輝く地場企業を、長崎ケーブルメディアの「なんでんカフェ」(毎月第2火曜日)の放送でも紹介しています。動画はQRコードからどうぞ!

